

設計の理念と考え

①過去に学び、新たな未来へ繋げる為の仙台文化を育てる拠点をつくる

○過去の震災に学び、未来へ発信する場

仙台市は1611年の仙台開府11年後に沿岸を襲った慶長三陸津波や、2011年の東日本大震災で沿岸部に大きな被害を受けながらも**何度も立ち直り**、開府後400年以上にわたって「杜の都」として成長・繁栄してきました。過去の災害における自然への畏怖畏敬の念とともに生きるための、**過去に学び未来に伝える拠点**となるような施設が必要だと考えます。

○音楽の力に学び、生きる力を育む場

音楽の力による心の復興は、音楽を力を再認識すると共に**仙台市民と音楽との強い結びつき**の現れです。プロ・アマを問わない音楽のあらゆる活動が**同時多発的に活発**に行われている様子が見える場をつくる**ことが重要**だと考えます。行けば**必ず発見**のある場所です。

○歴史、文化、観光、学術、自然を回遊する仙台の魅力を高める場

様々な資源に恵まれた都心部・青葉山エリアで、それらの価値を生かし多様な過ごし方や楽しみ方が出来るように、本計画内外も含めた**広域での回遊性**をつくる**ことが重要**だと考えます。都市全体の活性化を促し、**まちへの愛着を育てる場**をつくります。

設計を進める上で特に留意すること

② 対話を重視し、明確なゴールを生み出す設計プロセス

○各々の特色を活かした設計チーム

設計チームは公共建築の設計経験や仙台での業務経験があり、**対話型プロジェクトでも多くの実績**がある設計JVを主とした、豊富な知識と経験を備えた構成とします。設計チーム内だけではなく、行政や市民、市アドバイザーとも対話や交流重ねながら、**設計者として明確なゴール**を提示し、事業を牽引していきます。施設完成後も発注者・設計者・施工者・運営が常にコミュニケーションを取りながら、課題の早期発見と予見を行い、イベントを最適化する技術および運営面における質の高いフォロー体制を確立します。

○市民からの多くの意見を集約するプロセス

この建築に対する思いや要望を、設計者や行政、演者、市民が共有できる**設計プロセス**を計画します。設計内容の概要などを地域冊子として取りまとめたり、施設づくりの過程や計画建築模型などを展示を提案します。多くの方から興味を集め、幅広い年代の利用者に長く愛される建築を目指します。



模型やリサーチの展示

○震災メモリアル施設としての配慮

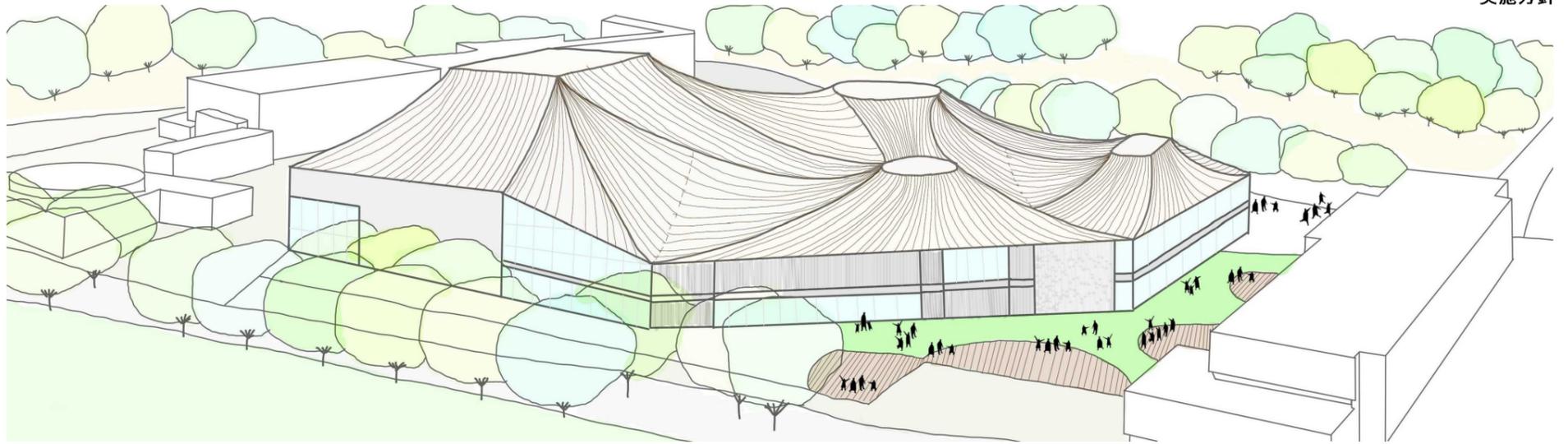
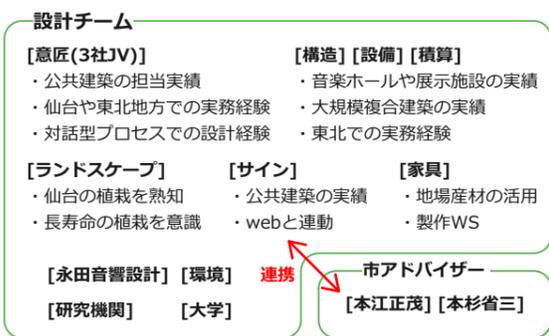
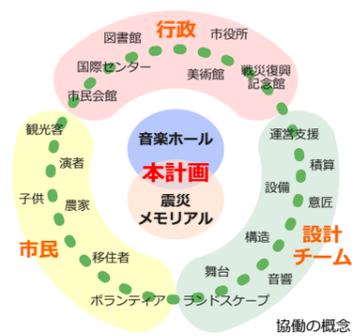
今の世代だけではなく後世に受け継いでいくべき記憶や経験を、施設利用者が自ら考えて理解を深めることができるような**「選択肢」**を計画します。被災者である大人から震災を経験していない子供まで、各々に合わせた方法で震災への理解を促すメモリアルを目指します。

○良質な音楽ホールを計画するための専門家との柔軟な協働

レジデントオーケストラがいる専門音楽ホールとしてだけではなく、サラウンド型とプロセニアム型の両方で適した環境を造り上げるには、ホールや音響・照明など**多くの専門家との柔軟な対話**が必要不可欠です。本設計では柔軟に対応可能な設計チームを構成した上に、配置計画も柔軟性に富んだものを採用しているため、**様々な専門的要望にも対応可能**です。

○限られた時間の中で最大限の結果を出す工程計画

初期段階で利用者や演者へのヒアリングや条件整理を丁寧に行い、**目標を共有しながら設計を進めます**。基本設計の初期に意見統合の期間を集中的に設けることで、基本設計後半に丁寧な設計の期間を確保し、多様な利用者が使用する施設として**品質の高い設計**を行います。そして、基本設計段階で市民と計画の共有を図り、その後の実施設計や現場監理の状況も関係各所と協議し、なるべく多くの情報を市民に向けて発信します。



コスト削減に関する提案

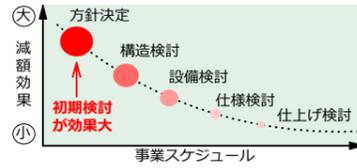
③ 設計や工事だけではなく、事業全体のコスト管理

○優先順位を明確にしたトータルコストの管理

公共建築の積算を専門とする設計チームの積算事務所と共に**時勢を見定めたコスト管理**を致します。同時に設計段階に応じて建設費用の大筋を確認・検討します。**限られた予算の中で優先順位**をつけて公共建築として本当に必要なものを確認しながら事業を進めていきます。

○各設計段階でのコスト縮減化検討

計画**初期段階**で建設費の大部分が決定します。このことから基本計画終了時、基本設計中間時、基本設計終了時の3回に分け概算費を算出し、影響の大きい構造躯体や設備費用を早期に検討することで、**予算内に納めるようコスト管理を徹底**します

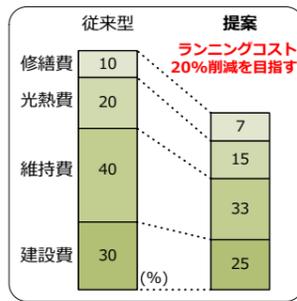


○イニシャルコストの削減

敷地の高低差を大幅に変更しないアクセス計画とし、地下工事範囲や根切り深さも必要最小限の計画とすることで、近年高騰している**土工事の割合を減らしてコスト削減**に努めます。その上で歩行者動線や搬入動線、バリアフリーに配慮した無理のない動線計画とします。

○再生可能エネルギー利用等によるランニングコストの削減

- ・外周の開口部と屋根面トップライトやハイサイドライトからの自然採光とし、明るい空間でありながら**照明負荷を削減**します。
- ・屋根面には太陽光発電設備を設置し、併設の蓄電池は有事の際に電源を確保できます。
- ・地下水を夏期冷房負荷低減のための屋根散水、ミストの気化熱で外部開放空間の冷却、輻射パネルの熱交換利用etcに利用します。
- ・ガスと電気の間併用運用で、電力のピーク負荷を抑えます。
- ・中間期が比較的長い仙台の気候を活かして、地上レベルの外周と屋根レベルに開放できるサッシを計画し、**自然換気による空調負荷の緩和**を図ります。
- ・外部建具にペアガラスを採用し、ペリメータゾーンへの空調、西日対策の縦型ルーバーなどの**高断熱化**を行い、建物への外部環境負荷を徹底して削減します。
- ・ホール客席部は座席吹出口による置換空調を行います。居住域空調のため、ホール全体空調に比べて**エネルギー効率が良い**です。



	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031
全体工程	基本設計		実施設計			入札・建設工事・外構工事等	
設計監理	○配置計画 ○ゾーニング	○平面計画 ○構造設備	○まとめ ○事前協議	○各部詳細検討 ○積算反映	○成果品 ○図面作成	週間定例会議	
予算管理	○初回概算	○中間概算	○基本設計積算	○中間積算	○最終積算		
市民共有	○施設への思いをヒアリング	○基本計画を共有し反映	○基本設計のまとめを発信	○最終計画を発信		○工事進捗を発信	

将来の大規模改修を想定した設計上の配慮

④ 大規模改修がしやすい計画

○大屋根の下のフレキシブルな構造・配置計画

フライタワーや中庭、常設展示室などの主体となる構造コアから、**包み込むような構造の大屋根**とすることで、大屋根の下の諸室は比較的**自由な構成**が可能になり、工事も容易になります。改修中の機能を別の諸室で補うことも可能なフレキシブルさも持ち合わせた計画によって、**大規模改修時にも運営**を続けることが可能になります。



大屋根構造模型

○大ホールの大規模修繕

大ホールでの工事には、大規模な仮設の設置が必要となるが、今回の計画では大ホール荷捌きから主舞台への動線が近い上にフラットで計画しているため、**更新工事が容易**であることと共に舞台設備の更新も最小の工事エリアで計画できます。また、更新期間中に、**単独で小ホールの運営も可能**なレイアウトとなっています。

○更新しやすい諸室の設備計画

日々のメンテナンス管理がしやすい計画を心掛け、大空間ではない諸室は、個別運転可能な電気式ヒートポンプパッケージエアコン(EHP)を採用し、**更新のしやすさに配慮**します。また、竣工時に長期修繕計画を作成します。さらに、設備機器のアフターサービス部門と連携し、長期的視野で予防・保全のための調査や改修計画を検討し提案を行っていきます。

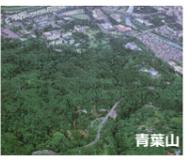
⑤ 長寿命建築の実現

- ・1階と2階の大屋根の下に配置される諸室は、社会状況の変化に柔軟に対応できる**フレキシビリティの高い建築計画**であり、**建物の社会的寿命**を伸ばします。
- ・長寿命化建材(LED照明器具、SUS配管、鋼板ダクト等)を採用し、**設備更新のサイクルを延長**します。
- ・屋外設置機器(熱源機器、EHP室外機、非常用発電機)の耐候性仕様の採用と共に保守スペースをしっかりと確保し、**長寿命化**を図ります。
- ・メンテナンス用バルコニーやテラスを設け、外壁修繕やガラス清掃の**コストを削減**します
- ・大きな地震が発生した際にも舞台機構が損傷しない、**地震に強い建築計画**とします。
- ・100年建築を目指すべく、経年により風格を増していく仕上げ材の選択を計画します。

⑥ 周辺環境に配慮した100年植栽計画

○青葉山と広瀬川

敷地南西に広がる青葉山は杜の都仙台を象徴する山です。モミの**天然林**やコナラやアカマツが広がっていて、豊かな生態系が維持されています。敷地東には全流路が仙台市内で完結する**広瀬川**があります。**河辺林**としてヤナギ群落があります。この二つの仙台の代表的な自然環境を活かした植栽計画を長寿命化した建築と合わせて**100年以上継続**していくことを目指します。



⑦ 延床面積表

5階	540㎡
4階	3,650㎡
3階	3,660㎡
2階	6,550㎡
1階	10,300㎡
B1階	7,300㎡
※地下駐車場面積除く	
合計	延床面積
	32,000㎡